NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を分析することでメディア・リテラシーを養おう！

2．学校名

宮城県尚絅学院高等学校

3．実践者名（代表者名）

田嶋誠

4．学年

第2学年　ヴィジョンクラス

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

教科：情報　専門科目：メディア・リテラシー　35人

6．単元（本時の学習課題）名

「報道を考える」

7．目標（狙い）

新聞に載せられている情報を鵜呑みにするのではなく、各社新聞比較をすることでクリティカルに読み解くことの重要性を理解する。

8．評価の視点

・新聞見出し、写真、そのキャプション等の分析項目を押さえ、分析が深められているかどうか。
・各社の記者や編集者の意図を想像する事が出来るか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「2つの報道を読み解く1（読み手として）」1時間　「2つの報道を読み解く2（書き手として）」2時間
「報道現場による合成写真の例」1時間　「複数社による新聞記事の分析」3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

① 2004年12月10日（金）のイラク自衛隊派遣延長の記事を読む。（30分）
　扱ったのは　産経新聞・読売新聞・毎日新聞・朝日新聞 の四紙
② 分析シートを使い項目ごとに分析　（1.5時間）
　分析項目としては、記事の情報源／記事の掲載面／見だし／記事の大きさ／見出しからはどんな印象を受けたか／よく使われる言葉や強調されている言葉／誰の言葉の引用か／写真・図・表の大きさ／キャプション／写真・図・表の詳細（場所や写っている人など）／どういう印象を受けたか／どうしてこの写真を使ったと思うか等で行っている。
③ 分析発表 まとめ　（1時間）
（留意点：生徒自身の力によって記事の違い発見や、編集者の記者の意図を想像できるかをサポートする）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒たちにとっては、この授業が一応に興味深いものになっているようである。しかし、取り上げるテーマによっては、関心や知識が不足していることから難解に思われる部分もあった。生徒感想として「先生、○○事件についての○○社の報道はおかしいと思いませんか」というものも複数出た。

12．成果と課題

（成果）
メディアの情報は「現実」を再構成したものであり、何らかの意図を持つ情報であることを学ぶことができた。また、時に社会的・政治的な意図を持つことさえあることを理解することができた。
（課題）
日頃の新聞に対する関心やその取り組みに対し、意欲を十分に喚起したとは言えなかった。日々の新聞に対し小さい課題を与える等の工夫が今後の課題となる。